

【NEWS RELEASE】

2022年3月31日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社栗田機械製作所に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社栗田機械製作所（代表取締役：栗田佳直）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

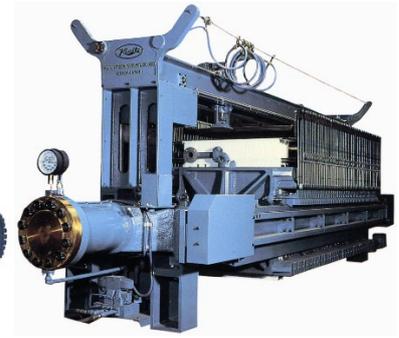
「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社栗田機械製作所については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 全自動フィルタプレス（固液分離装置）の製造販売による水質保全・資源効率向上への貢献

目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組に従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
目標 6 安全な水とトイレ を世界中に	6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減および再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



■機械名称「栗田式全自動フィルタプレス」

(製品紹介)

フィルタプレスは固液混合液を固体と液体とに分離する装置の1つです。

機械的な特徴として「全自動構造である」「機械の構造が簡単である」「耐久性に優れている」「消費電力量が少ない」等を持ち、そのことから素材原料の消費やエネルギーの消費を抑えることができます。

性能的な特徴として「低含水率のケーキが得られる」「粒子の捕集率が高い」「小さな設置面積で大きな処理量をほこる」等を持ち、後工程に乾燥工程があるときには「低含水率のケーキが得られる」ことで乾燥工程の負荷を下げ、その結果として燃料の消費を抑えることができます。

このようにフィルタプレスは他の分離装置に比べ、最も環境に優しい機械です。

その他情報に関しましては「株式会社栗田機械製作所」ホームページ参照

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。